

# 岡村精二後援会：「2010 県政報告」と集い

平成 22 年 11 月 22 日 全日空ホテル国際会議場

感謝をこめて・・・

本日は、たいへんお忙しいなか、ご出席賜り厚くお礼申し上げます。

岡村精二後援会

会長 村田義三

## プログラム

1. 開式の言葉（司会）
2. 日本舞踊（雅原真結様）
3. 後援会会長挨拶
4. 岡村精二議員県政報告
5. 来賓紹介ならびに来賓挨拶
6. 乾杯
7. 歓談・余興
8. 「ふるさと」合唱
9. 後援会代表お礼の挨拶
10. 頑張ろうコール
11. 閉式の言葉（司会）



初詣には、ぜひ恵美須神社にお参りください。岡村議員がお世話しています。  
(厚南・妻崎漁港内)

## 故郷（ふるさと）

1. 兎(うさぎ)追ひし かの山  
小鮎(こぶな)釣りし かの川  
夢は今も めぐりて  
忘れがたき 故郷(ふるさと)
2. 如何(いか)にいます 父母  
恙(つつが)なしや 友がき  
雨に風に つけても  
思ひ出(い)づる 故郷
3. 志(こころざし)を はたして  
いつの日にか 帰らん  
山は青き 故郷  
水は清き 故郷



## 本日のメニュー

スモークサーモンケッパー  
添え  
小鱈のマリネ  
フライドチキン  
海老チリ  
チョリソーソーセージと  
ポテトフライ  
ヒレカツ串  
秋茄子とハウレン草の  
モッツアレラチーズグラタン  
ローストポークスパイス風味  
チャーハン  
デザート

## 県政報告のレジメ 「夢は、山口発 日本再構築！」

### 政治姿勢

今、さまざまな課題が私たちの前に立ちふさがり、日本は直面する困難を克服する  
勇気と、新たな未来を構築する挑戦が求められています。

政治家の責任として、山口県の未来に対する夢を語り、具体的な未来像を示し、実  
現のために実践していく覚悟を強く持たなければならないと決意しています。

『生活者の起点に立った政策を提案し、専門的知識を持って、自ら行動し夢を形  
にしていこう議員』を目指して、皆様のご期待に添えるように努力して参ります。

### 4 年間の取組み

山口県が将来にわたって確かな存在感を発揮できる地域であるために、持続可能な  
県政の基盤づくりに全力で取り組んでまいりました。

#### A. 議会活動

1. 山口県中山間地域振興条例を制定（山口県初の議員立法）
2. ふるさと産業振興条例を制定（議員立法）  
農林水産の地産地消だけでなく、  
産業分野においても地産地消を促す条例。
3. 山口県青少年健全育成条例を改正  
有害図書については日本一厳しい規制に改正
4. 土木建築業における入札制度を改正  
334社へのアンケート調査を実施（全国初の事例）  
調査基準価格・判断基準価格の引上げ（日本トップ水準へ）  
2年間で、土木で約10%、建築で約15%引き上げ
5. 文教警察委員長  
教育問題や暮らしの安心・安全に係る課題への取組み



#### B. その他

1. 第2回日本マニフェスト大賞：優秀賞受賞  
議員が政策提案を競う大会で議員部門で受賞
2. 障害者就労支援として宇部空港の「鍋島」開店を支援  
障害者自立支援法に基づく課題解決の一助として、全国で  
初めて出発ロビーの搭乗口そばに「角打ちの店」を開店
3. 広域通信制単位制の「精華学園高等学校」開校  
不登校や高校中退者の支援として開校  
（山口県内の不登校は1800名、高校中退者は700名）  
理美容師、調理師になるためには、高校卒業の資格が必要



4. 山口大学より学位「博士」取得（災害対策分野）
5. 「手紙でつむぐ親子のきずな」出版
6. 第1回「心を育む総合フォーラム教育大賞」  
（「森と海の学校」が特別賞とブロック賞を受賞）
7. 自然体験キャンプとジュニア洋上スクールを実施



呼び覚まそう！

## 【山口県（賢）人としての誇りと自信】子どもたちの未来のために

### A. 「山口」とは「先駆けになる」「先陣を切る」という意味

平成25年、伊勢神宮では20年に一度の遷宮が行われます。その準備が平成17年から始まっています。遷宮が完了するまでに、20数回の祭りが行われますが、最初に行われる祭りが「山口祭」です。

「山口」という言葉には「先駆けになる」「先陣を切る」という意味があります。明治維新のとき吉田松陰先生や高杉晋作が活躍したこと、9人の内閣総理大臣を輩出していることも、我々、山口県民の持っている使命と、山口県の持つ役割がそうさせているのではないのでしょうか。

山口県民の誇りと自信、そして勇気を子どもたちに持たせたいものです。

### B. 「山口県教育」とは「花のほほえみ 根のいのり」

薩摩藩には「郷中教育」という教えがあり、「嘘を言うな」「弱い者をいじめるな」「質実剛健たれ」などと書かれ、これが薩摩藩の教育の柱です。

会津藩の藩校「日新館」には「什（じゅう）教育」という教えがあり、「年長者の言うことに背いてはなりません」「嘘を言うてはなりません」「卑怯な振る舞いをしてはなりません」などと書かれ、これが会津藩の教育の柱です。

山口県教育の柱ともいべき吉田松陰先生の「松下村塾の塾則」は、

- 一、両親の命、必ず背くべからず。
- 一、両親へ必ず出入を告ぐべし。
- 一、晨起盥梳（朝起きて顔を洗い髪をくしけずる）、先祖を拝し、御城にむかひ拝し、東にむかひ天朝を拝する事、仮令病に臥す共怠るべからず。
- 一、兄はもとより、年長又は位高き人には、かならず順ひ敬ひ、無礼なる事なく、弟はいふもさら也。品卑しき、年すくなき人を愛すべし。
- 一、塾中に於て、よろづ応対と進退とを、切に礼儀を正しくすべし。  
第一条より、終り五条に至り、違背あるべからず。  
第一条の科は、必ず座禅たるべし。其の他四条は、軽重によりて罰あり。

5カ条の塾則があり、以下3条は、ほぼ「郷中教育」「什教育」の内容と同じです。「両親の命、必ず背くべからず」という規則は、他藩にはなく、特に第1条に違反した場合には、厳しい罰則が書かれています。「親を大切にすること」という当たり前と

思えることを塾則の第1条にうたっていることが「松下村塾らしさ」であり大きな特徴です。

乃木希典大将の家訓は「幸を招く基は先祖に向かいて、朝晩手をば合わせよ」であり、松陰先生の影響を受けていたと思われます。

「親を大切にすること」ということは、植物に例えれば「根っこを大切にしてください」という教えです。

山口県教育とは「親や先祖を大切にすること」「郷土の偉人たちの生き方に学ぶ教育」だと思います。

「花のほほえみ 根のいのり」こそ、山口県教育の根幹ではないでしょうか。

### D. 夢は「山口県発・日本再構築」(山口県の人口1,447,878人：高齢化率26.6%)

夢・その1：『家族の復活』(家族は人間関係、人と人との共生関係の基礎。)  
どんな時も家族さえしっかりしていれば、困難な課題を解決できる。仕合せの原点。

夢・その2：『教育県山口』『政治県山口』『農林水産県山口』  
明治維新を成し遂げた山口県人としての誇りと気概の復活。  
『国家の根幹は教育』今、国家存亡の危機：日本は1を目指す技術創造立国  
(資源のない国の学力が大きく低下したとき、その末路は?)  
・寺子屋の数：日本一(人口比)だった山口県は日本一の教育県。  
・水産大学と山口大学農学部を活用した後継者育成と農林水産の活性化

夢・その3：『中核都市を持たない山口県を逆手に取る社会福祉平準化』  
県庁所在地の山口市ですら人口は19万人。文化施設が一極集中していない。

夢・その4：『周防灘港・ハブ構想』  
周防灘を1つの港と捉えれば、アジア最大のハブ港になれる可能性を秘めている。

夢・その5：『巨大アウトレットに併設した1万人収容のアリーナ』  
若者の県外流出を食い止める魅力ある山口へ：スマップをよべる巨大アリーナ建設

夢・その6：『観光産業県山口』(NHK大河ドラマ「高杉晋作」)  
全国に誇れる観光資源の活用。(3方を海に囲まれ、温暖な気候：りんご、なし、みかん)  
高杉晋作なら県民の誇りと自信を与えてくれる。(古川薫原作、山田洋二監督で)

夢・その7：『遷都！山口』(秋芳洞は何万年もの間、地震がなかった証)  
コンピューターの設置やデータ集積基地、衛星統括基地となりうる地盤と立地  
中国地方の語源：葦原中国(あしはらのなかつくに)とは、日本神話において、大国主命が国造りをしたといわれる日本の国土。日本の中心という意味がある。出雲地方とする説や島根、鳥取、広島、岡山、山口をまとめて位置付ける説などがある。



秋芳洞は約3億年前にサンゴ礁が地殻変動によって陸地化した